

(4) カリキュラムの紹介

【講師による講義】

リーダー塾では、毎年「教養」「ビジネス」「国際」「人間学」など様々な分野の第一人者による講義が行われています。講師の方々には各専門分野の講義に加え、コロナや気候変動、SDGsなど世界の様々な課題に対して、今後次世代のリーダーとなる時にどのように向き合っていくべきかについてお話をいただきました。

【アジア・ハイスクール・サミット】

「ローカルからグローバルへ～世界と繋がって、地球の未来にいいこと何ができる？」



リーダー塾では、講師による講義を受けることに加えて、期間を通して、決まったテーマのもとで塾生同士、徹底的に議論をして政策を打ち出す「アジア・ハイスクール・サミット」を実施しています。解決することが難しい社会課題に挑戦して、やがて近い将来、リーダーとなったときに、どのように課題に取り組み、解決できるか、高校生のうちから経験するのが狙いです。

日本全国から集まった塾生は一人一人異なる地域の社会問題に直面しており、課題意識を持っていました。さらに、現在様々な分野で活躍されている講師の方々の講義から、「ローカルかつグローバルな社会問題に対する解決策」を見出すことを目指し、今年度は、「ローカルからグローバルへ～世界と繋がって、地球の未来にいいこと何ができる？」と題して討議が行われました。

次世代を担っていく高校生たちが、「各々が生活している社会で直面している問題が世界中で生活している人々の抱えている問題とどのように繋がっているか、またそれらを解決し、より良い未来を作るためにはどのようなアクションを起こすべきか」について議論を重ね、答えのない課題に柔軟で独創的なアイデアで考え抜くことを期待し、解決策を導き出すプロジェクト型の取り組みです。

具体的には、7つのクラスに分かれて「教育」「経済」「人口減少」「自然災害」「多様性」など塾生が感じている課題からテーマを設定し、塾生自身の体験談やプログラム中の講義、塾生同士の交流を通して得た知見を踏まえて2週間のディスカッションから具体策を出します。

【日本政府「アジア高校生架け橋プロジェクト」とのディスカッション】

アジア高校生架け橋プロジェクトは、日本政府がアジア20ヶ国・地域年間200人5年間で1000人の高校生を招聘しようと始まった全額奨学金制度です（今年で4年目）。

今年度もコロナ禍での開催によりアジア奨学生が不在となりましたが、日本に留学予定の高校生をオンライン上で招待し、コロナ禍で各国が直面している課題の共有や、アジア・ハイスクール・サミットで話し合っている「より良い地球の未来に対して高校生という立場から何ができるか」というテーマについての意見交換を英語で行いました。

【宗像大社見学】

2014年に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」としてユネスコ世界文化遺産に登録された宗像大社を見学しました。神職の皆様が各クラスに付いて、神社に社殿が構築される以前の岩の祭場などを回り、丁寧に説明していただきました。また、見学前には宗像大社宮司の葦津敬之氏による講義も行われました。